

日本インテリア学会関西支部主催

重要文化財)香雪美術館「旧村山邸」インテリア特別見学会



香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

非公開重要文化財／河合幾次・藤井厚二・藪内節庵の競演 旧村山龍平邸のインテリア視察が実現！

日本インテリア学会関西支部では一昨年より、近代の空間デザインの系譜を理解し、その普遍性と時代性を考えるというアプローチで、見学会や講演会を行っています。今回、我が国の近代化の過程で、建築家の河合幾次や藤井厚二が力を発揮した住宅のインテリア空間を特別に見学させて頂く機会を得ました。

香雪美術館は、朝日新聞社の創業者・村山龍平が蒐集した日本、東洋の古美術コレクションなどを収蔵する美術館として、昭和48年(1973)に開館されました。

古美術の優品を展示する美術館を訪れた方は多いと思いますが、敷地内に現存する、明治、大正期の文化と建築技法を今に伝える優れた近代建築である「旧村山家住宅」の内部空間までを視察された方は多くないと思います。

村山龍平が居宅を構えた神戸・御影は、阪神間に広がった郊外住宅の先駆的存在であり、旧村山家住宅は広大な敷地に和館、洋館の建物を擁する明治、大正期の邸宅として、国指定重要文化財となっています。

洋館は河合幾次の設計で、地階と1階部分を煉瓦造、2階を木造とした構成。2階の木造部分は、柱や梁等の骨組を頭わに見せるハーフ・ティンバー風の装飾を用いています。施工は初期の竹中工務店で、明治42年(1909)に竣工しました。その後順次、木造棟が建設されました。

和館は藤井厚二の設計です。近代の和風建築として村山龍平の趣味教養を偲ばせると同時に、当時の質の高い木造建築技術を示しています。和館の玄関棟、書院棟、茶室棟は地形を巧みに利用して巧妙に配置され、最も奥まった北に位置する茶室棟は、「玄庵」と「香雪」の2席。「玄庵」は明治44年(1911)、藪内節庵の指導を受けて建てられました。藪内流家元の茶室「燕庵」の忠実な写しです。藪内家では、伝来の茶室「燕庵」を写して建てることは相伝を得た人だけが許される定めになっており、村山邸に燕庵写しが建てられたのは破格の扱いでした。

これら旧村山邸住宅は、期間限定で敷地内への入場やお茶会を催されていますが、今回日本インテリア学会会員に限定して特別に、一般公開を行わない建物内部の視察、学芸員によるご案内を行って頂くこととなりました。

非常に貴重な機会でありまた、学会員限定の企画ですので、万障お繰り合わせのうえご参加ください。



日時：2016年11月5日(土) 14時30分集合

集合場所：香雪美術館門前(弓弦羽神社前)

費用：村山邸見学参加のみ：1000円

見学会・懇親会参加：6000円

定員：20名

懇親会：「なだ番」神戸市東灘区御影本町4-8-17

TEL:078-842-3348

スケジュール：14時30分 香雪美術館入り口集合

14時30分～15時 美術館 見学

15時～16時半 旧村山龍平邸 見学

16時半～17時 美術館 見学

17時40分～20時 懇親会

申し込み締切：2016年10月25日

申し込み方法：日本インテリア学会関西支部ホームページ

<http://www.jasis-kansai.jp/> 活動ページより申し込みください

見学会・懇親会それぞれの出欠をお知らせ下さい

※本見学会は日本インテリア学会会員のみ限定

